



記者発表資料

令和7年12月22日
国土交通省
九州地方整備局
宮崎河川国道事務所

小丸川水系河川整備計画を変更しました

～九州初！定量目標設定で良好な河川環境を保全・創出～

九州地方整備局では、小丸川の今後概ね30年間の整備目標と具体的な整備内容等を示す「小丸川水系河川整備計画」（以下、「本計画」という）を変更しました。

本計画では、主に下記の3点を変更しました。

- ① 気候変動の影響を考慮した河川整備基本方針（変更）を踏まえ、戦後第1位である平成17年9月洪水の実績流量相当を安全に流下させるよう目標流量を見直しました。
- ② 河川環境の更なる向上を目指し、河川整備によって保全・創出する動植物の生息・生育・繁殖の場を指標として定め、九州で初めて河川環境の定量的な目標を設定しました。
- ③ 流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水「流域治水」の推進等を位置づけました。

今後、本計画に基づき、関係機関等と連携しながら、治水・利水・環境の目標を調和させ、小丸川の安全・安心を高める河川整備を推進していきます。

記

<小丸川水系河川整備計画（変更）について>

・宮崎河川国道事務所のホームページ（下記URL）より閲覧可能です。

<https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/kasen/omaru/seibi/seibikeikaku.html>

（問い合わせ先）

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所

技術副所長 横山 京人

流域治水課長 山崎 幸栄

TEL：0985-24-8221（代表）

PC ホームページ : <https://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>